



題材	1 パスで えがこう -絵に表す-			4月(4時間)
目標	パスでできた形や色を基に表すものや表し方を考え、パスによるぼかしや塗り重ね、塗り分け、塗り残しなどの表現技法を生かして、想像した世界を表す。			
評価規準	(①知・技)パスの動かし方や力加減などを工夫して、ぼかしや塗り重ね、塗り分け、塗り残しなどの表現技法を使い分けて表すことを見付けている。 (②思・判・表)パスによる様々な表現技法を使ってできた色面を生かして、表すものや表し方を考えている。 (③主体的態度)パスでできる表現に関心をもち、自由に想像した世界を絵に表そうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○パスをねかせて塗った色面を柔らかい紙などでこすって、ぼかした表現を楽しんだり、パスでぼかした表現から想像を膨らませて、ぼかした画面に思い付いたものを描き加えたりする。  学習のめあて パスでいろいろなかき方をして、かきたいものをかこう	○自分とは異なる表現方法に気付けるよう、楽しい思い付きをしている子どもや、工夫している子どもの表現を紹介する。	◇パスのぼかしの表現を、いろいろな色や形で試している。 <行動①>
あらわす・ひろげる	1	○参考作品を見て塗り広げと塗り残しによる表現や白のパスを重ねるぼかしの表現を知る。  ○初めに画用紙に鮮やかな色のパスで面塗りして白を重ね、ぼかしを入れる。次に黒のパスで描いたものの上から好きなものの形を描いて、その周りを黒で塗りつぶしていく。塗り残された部分の鮮やかさが引き立つ効果を確認しながら、次々に好きなものを描いて、同じように黒で塗りつぶしていく。	○ぼかを生かした表現を広げられるよう、自分なりに工夫をしている子どもの表現を紹介する。  ○段階を踏んでぼかす方法とその効果が把握できるように、単色→2色を重ねて→紙を変えて(色画用紙で)というような演示をする。 	◇ぼかしてできた表現を生かして工夫して描いている。 <行動・学習プリント②>  ◇色を塗り分けながら鮮やかな色面をつくり、その上からパスを塗り重ね、ぼかしの表現を試したり、塗り残された色の鮮やかさを確かめたりしながら描いたりしている。 <行動・学習プリント①>
ふりかえる	1	○みんなの作品を見合い、黒の背景から浮かび上がる形や色の美しさを味わう。	○友達作品のよさに気付けるよう、黒の背景から浮かび上がる形や色の美しさの視点を提示する。	◇自分の作品の黒との対比によるパスの色の美しさを感じ取り、学習プリントに記述している。 <学習プリント③>
共通事項	パスによるぼかしや塗り重ね、塗り分け、塗り残しなどの表現を楽しむ活動を通して、パスでできる形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・薄いハつ切り画用紙を二等分したものを十分準備しておき、いろいろ試せるようにしておく。また色画用紙も同様に何色が準備しておき、自由に選択しながら表現を試せるようにする。 ・準備物 パス、画用紙、色画用紙、ティッシュペーパー ※教科書1・2下…P12・13				

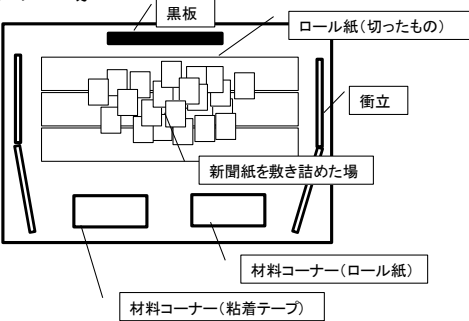
題材	2 おはなし 大すき -絵に表す-			5月(10時間)
目標	物語を聞いて場面の様子を想像し、表したいことがはっきりと分かるように、表し方を工夫したり、パスや絵の具の扱い方を工夫したりして絵に表す。			
評価 規準	(①知・技) パスや絵の具で塗り分けたり組合せたりして描く。 (②思・判・表) 表したい場面の様子を想像し、表したいことがはっきりと分かるように、大きさや配置を工夫したり表し方を考えたりする。 (③主体的態度) お話から想像したことを絵に表すことに、楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	2	○教師の朗読を聞き、気に入った場面や想像したことを話し合い、学習の見通しをもつ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         学習のめあて                          お話の好きな場面や想像したことを、パスや絵の具を使ってかこう                     </div>	○自分なりに想像を膨らませながら場面を捉えられるよう、文章情報のみのお話を用意する。	◇お話に出てくるいろいろな生き物や周りの様子について、友達に伝えている。  <行動①>
あら わす ・ひ ろげ る	3  5	○描きたいことの中心を決め、主人公(自分)や周りの様子の表し方を考えながら、下絵を描く。  ○想像したことや発表し合ったことを基に、パスや絵の具で表す。	○思いが明確になるように、お話の中で楽しかったところ、ドキドキしたところはどこか、そのとき自分だったらどんなことをしてみたいかという視点を提示する。  ○自分の表したいことを表せるよう、パスや絵の具の適切な扱い方を演示したり、工夫して表している児童を紹介したりする。	◇話を聞いて想像したことや自分の表したいことを考えながら、大きさや配置に気をつけながら下絵を描いている。  <作品②>  ◇お話を聞いて想像したことや自分の表したいことを、パスや絵の具で描いている。  <作品③>
ふり か え る	1	○できた作品を紹介し合い、楽しさや工夫を見付け合う。	○できた作品の表現方法の工夫や楽しさを味わいながら見合えるよう、互いに作品を発表し合う時間を設定する。	◇パスや絵の具を使った描き方の工夫に気付き、学習プリントに表している。  <学習プリント①>
共通事項	想像を膨らませながらお話を聞く活動を通して、描きたい場面の形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
<b>【備考】</b> ・準備物 物語、四つ切り画用紙(色画用紙)、鉛筆、パス、絵の具セット ・関連：国語「スイミー」の物語 ※教科書1・2下…P28・29				



題材	3 お気に入りコレクション -鑑賞-			6月(2時間)
目標	身近にあるものの中から自分が気に入ったものを選び、形や色などからよさを見付け、楽しく見る。			
評価規準	(①知・技) 身近にあるものの中から形や色などのおもしろさに気付ける。 (②思・判・表) 身近にあるものを形や色などからよさを見付け、楽しく見ることが出来る。 (③主体的態度) 身近にあるものの中から自分が気に入ったものを見付け、集めたものを見たりすることに関心をもつ。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○校庭に出て、形がおもしろい、色がきれいなど、自分が気に入ったものを見付けて4つ箱に入れる。 身近にあるもの 小石、砂、小枝、木の実、花、葉っぱ等	○どうして選んだのか問いかけることによって、自分なりに見付けた形や色などのおもしろさに気付けるようにする。	◇身近にあるものの中から形や色などのおもしろさに気づき、気に入ったものを見付けて箱に入れている。 <行動①②③>
あらわす・ひろげる ふりかえる	1	○箱に入れたものをお気に入りコレクションにし、自分が一番気に入ったものが答えになるようなクイズをつくり、クイズを出し合いながら、感じたことを話したり、友達の話の話を聞いたりする。	○「触り心地がよい」「色がきれい」「光っている」など、一人一人が自分の気に入ったよさをクイズの問題にできるようにする。 	◇「星みたいな形をしています」等のように形や色、手触りなどの造形的な観点から見て、クイズの問題にして記述している。 <学習プリント①②③>
共通事項	身近にあるものを見たり触ったりする活動を通して、気に入ったものの形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
<b>【備考】</b> ・準備物 身近にあるもの(小石、小枝、木の実、花、葉っぱ等)、コレクションを入れる箱、学習プリント ・事情により校庭から身近にあるものを持って来られない場合は、第2図工室に人工物も含めた身近にあるものが用意してあるため、それを教材として使ってもよい。 ※教科書1・2下…P38・39, 40・41				

図画工作科 2年

題材	4 まどから こんにちは -工作に表す-			6月(6時間)
目標	窓の中から出てくると楽しいものを思い浮かべて窓の形や開き方を工夫し、カッターナイフを使ったり、のりの接着面を考えたりして窓のある家や飾りをつくる。			
評価規準	(①知・技) 窓の形や開き方に合わせてカッターナイフを使ったり、のりや描画用具を適切に扱ったりして家や飾りをつくる。 (②思・判・表) 窓の中から出てくると楽しいものを思い浮かべて窓の形や開き方を工夫する。 (③主体的態度) 窓のある家をつくることに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○カッターナイフの正しい刃の出し具合、持ち方、切り方を知り、楽しく想像しながら、窓の形や開き方を試しているいろいろな窓をつくる  学習のめあて カッターを正しく使って、いろいろな窓をつくろう	○楽しく発想できるように、窓を開けたら何が出てくると楽しいかという視点を提示する。  ○さまざまな窓の開き方があることに気付けるよう、形や動きを工夫して発想している児童を紹介する。	◇窓のある家をつくることに関心をもち、どんな窓のある家にしたいかや、窓から何が出てくると楽しいかについて発言している。 <発言①>  ◇カッターナイフを正しく扱いながら、窓の中から出てくると楽しいものや窓の形などを考えてさまざまな窓を試してつくっている。 <作品②>
あらわす・ひろげる	4	○表したい窓の形や窓の開き方を考えながら、カッターナイフで窓の形に合わせて切り、窓の中から出てくるものを後ろから貼ったり、パスで彩色したり、飾りをつくったりする。	○カッターナイフやのり、描画用具の適切な扱い方を確認しながら製作できるように、窓の形や開き方に応じた用具の扱いをしている児童を紹介する	◇窓の開き方に合わせてカッターナイフで正しく切ったり、のりで丈夫に接着したり、表現意図に合わせた用具で描いたりしている。 <作品③>
ふりかえる	1	○できた作品を並べて見合ったり、友達と遊んだりして、発想のおもしろさや表現の工夫を見付け合う。	○工夫や楽しさを味わいながら見合えるよう、窓の形や開き方、中から出てくるものの工夫について視点を提示する。	◇発想のおもしろさや表現の工夫に気付き、学習プリントに記述している。 <学習プリント①>
共通事項	カッターナイフで窓の形に合わせて切る活動を通して、窓のある家の形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・カッターナイフの基本的な扱いを十分に指導する。 ・準備物 色画用紙の半分(黄色、赤、青、緑、オレンジ、紫、黒、ピンク、茶など)、カッターナイフ、はさみ、パス、カラーペン、のり ※教科書1・2下…P44~47				

題材	5 レッツ ゴー かみランド -造形遊び-			7月(2時間)
目標	紙がもつ材料の特徴や質感などを体全体で味わいながら、思い付いた形をつくる。			
評価規準	(①知・技) 紙をちぎったり、丸めたりするなどして、思い付いたり、考えたりしながら、ものづくり方を工夫している。 (②思・判・表) 紙の感触を体全体で味わいながら、面白い形や楽しい形を思い付いたり、遊びを考えたりしている。 (③主体的態度) ちぎったり、丸めたりするなどして紙の感触を楽しみながら、体全体を使って取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう  あらわす・ひろげる  ふりかえる	1	○大きな紙で、思い付いたものをつくる。	○繰り返し紙と関わり、試しながら手触りや風合いの違いを体全体で感じられるよう、新聞紙、クラフト紙、障子紙を学習材として設定する。 ○つくったものの中で寝転んだり、遊んだりするなどしながら、紙と紙でつくられたものの感触や形の違いを体全体で味わえるよう、大量の紙を敷き詰めた場を設定する。  紙を敷き詰めた場 	◇繰り返し紙をちぎったり、丸めたり、つないだりするなどして、思い付いたものをつくっている。  <行動①②③>
	1	○自分のつくったものや友達のかつったものを見て、紙が変化した形の面白さや材料の感じなどについて、友達と話し合う。	○つくっている時の気持ちを振り返ることができるよう、活動している時の写真やつくったものを使って振り返る時間を確保する。	◇自分や友達のかつったもので遊びながら、形や紙の変化について、気付いたことや面白いと思ったことを話している。<発言・学習プリント①②③>
共通事項	紙と関わりながら、大きな紙をちぎったり、丸めたりするなどの活動を通して、形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
※教科書 1・2下…P16・17, 30~33, 54・55				

題材	6 なにが 出るかな -工作に表す-			9月(10時間)
目標	飛び出す仕組みを生かして発想し、形や大きさを調節したり、接着方法を工夫したりして、動くおもちゃをつくる。			
評価規準	(①知・技) 用具を適切に扱い、部品等の形や大きさを調節したり、接着面を考えたりして材料を加工し、飛び出すものを工夫してつくる。 (②思・判・表) 飛び出す仕組みやその動きのおもしろさを生かしてつくりたいものを思い付き、動きやすい仕組みや飾りのつくり方を考える。 (③主体的態度) 飛び出す仕組みや飾りのよさを見付け、つくることに楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○飛び出す仕組みで遊びながら動きのおもしろさを見付け、学習の見通しをもつ。	○動きからの発想を引き出すために、参考作品は完成品でなく、飛び出す仕組みが分かるようなものを提示する。	◇箱の中からどんなものが飛び出すとおもしろいかについて発言している。 <発言②>
	1	○箱の中から飛び出すとおもしろいもの考え、アイデアスケッチをする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     学習のめあて                      飛び出す仕組みを工夫して、箱から飛び出すおもちゃをつくろう                 </div>	○発想を広げられるように友達のアイディアを紹介したり、前面の飾りの例を提示したりしてする。	◇箱の飾りと飛び出すものを関連付けて考え、アイデアスケッチに表している。 <学習プリント②>
あらかわす・ひろげる	3	○飛び出す仕組みのつくり方を知り、はさみやカッターを使って牛乳パックを加工した仕組みをつくる。	○スリットの部分は、カッターナイフを使用し、安全で適切なカッターの使用方法を身に付けられるように、刃の出し方や左手の位置、使わないときは刃をしまうなどの指導を行う。	◇自分の表したいものに合う仕組みを試しながらつくっている。 <作品②>
	4	○前面や背面の飾り、飛び出すものなどをつくって、仕上げる。	○スムーズに動くように、動きを確かめながらつくる時間を十分に確保する。	◇仕組みの動きを確かめながら、材料を切ったり、貼ったり、描いたりしてつくっている。 <作品①>
ふりかえる	1	○作品をみんなで交換して遊び、アイデアのおもしろさやつくり方の工夫を見付ける。	○動きや飾りの面白さに気付くことができるように友達と遊びながら、おもしろさや工夫に気付いている発言を賞賛する。	◇発想のおもしろさや表現の工夫について、学習プリントに記述している。 <行動・学習プリント③>
共通事項	飛び出す仕組みで遊ぶ活動を通して、動くおもちゃの形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
<b>【備考】</b> ・準備物 牛乳パック、トイレットペーパーの芯、画用紙、色紙、はさみ、のり、セロハンテープ、カッターナイフ、カラーペン、ボンド など ※教科書1・2下…P36・37				

図画工作科 2年

題材	7 くすの木で あそんだら -絵に表す-			10月(10時間)
目標	校庭のくすの木で楽しく遊ぶ様子をくすの木の特徴を基に自由に想像し、パスや絵の具の扱い方を工夫して絵に表す。			
評価規準	(①知・技) 表したい感じが表れるように、パスと絵の具を使い分けて表し、表現の工夫を見付ける。 (②思・判・表) くすの木で楽しく遊ぶ様子を、くすの木の特徴を基に想像し、表したい感じに合わせてパスや絵の具による表し方を工夫する。 (③主体的態度) くすの木で遊ぶ様子を表すことに関心をもち、進んで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	2	○くすの木に見たり触れたりして、くすの木の特徴を感じ取り、できたら楽しい遊びを想する。  学習のめあて くすの木で楽しく遊ぶ様子を、パスや絵の具の使い方を工夫してかこう	○描きたいことが明確になるよう、くすの木の下で遊び、話し合う時間を設定する。	◇くすの木から見つけた特徴を基に、想像した遊びについて発言している。 <発言②>
あらわす・ひろげる	6	○くすの木を遊び場にして、自分や友達がくすの木で遊んでいる様子を、パスや絵の具を使って、画用紙いっぱい描く。	○パスや絵の具の使い方を工夫することができるよう、パスと絵の具を用いた表し方の分かる参考資料を提示する。	◇表したい感じに合わせて、パスや絵の具を使い分けて表している。 <作品①>
ふりかえる	2	○作品を見合い、表現のおもしろさや工夫を見付ける。	○作品のおもしろさや工夫に気付けるよう、作品を紹介し合う活動を設定する。	◇表現のおもしろさや工夫に気づき、学習プリントに記述している。 <学習プリント③>
共通事項	くすの木を見たり触れたりする活動を通して、くすの木の形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・導入は、実際にくすの木の下で行うとよい。 ・前題材「パスでえがこう」「ぼくのはた わたしのはた」「お話大すき」で身に付けた技能(表したいものの中心をはっきりさせて描く)(パスと絵の具の使い分け)(組み合わせを工夫する)を生かせるよう配慮する。 ・準備物 四つ切り画用紙、パス、絵の具セット ※教科書1・2下…P24・25				

図画工作科 2年

題材	8 秋の びじゅつかん -造形遊び-			11月(4時間)
目標	校庭で見付けた落ち葉や小枝, 木の実などを使って遊んだり, その特徴を生かしてつくりたいものをつくったりする。			
評価規準	(①知・技) つくりたいものにちじて材料や用具を選んで表し, 表現の工夫に気付く。 (②思・判・表) 材料の形や色を生かしてできそうなことを考えたり, つくりたいものを思い付いたりする。 (③主体的態度) 自然の材料を使った造形活動に興味をもち, 楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	2	○材料となる落ち葉や小枝, 木の実などを集めて遊ぶ。 集めた材料をならべる。 好きな形や色の材料を組み合わせる。 粘土などに集めた材料を貼り付けたり落ち葉や小枝を並べて動物等の形にしたりする。 落ち葉や小枝を体に付けて変身する。  学習のめあて 校庭で見付けた落ち葉や小枝で, 楽しく遊ぼう	○材料の特徴の生かし方や自分なりの表し方を考えることができるよう, 校庭やくすのき下で材料を集めながら, 遊ぶ活動を設定する。	◇材料となる落ち葉や小枝, 木の実などを集めて, 楽しく遊んでいる。 <行動③>
あらわす・ひろげる	2	○どんな遊びができたか発表し合い, もっとやってみたいことやこれからできそうなことについて考える。  ○集めた落ち葉や小枝を切ったり, つなげたり, 他の材料と組み合わせたりして, つくりたいものをつくる。	○材料の生かし方や表し方を工夫して表現することができるよう, 集めた材料を友達と紹介し合ったり, 交換したりする活動を設定する。  ○自分の表現したいものに合わせて, 加工や接着の仕方を選ぶことができるよう, 用具コーナーを設置する。	◇材料の特徴を生かしてできそうなことを学習プリントに描いている。 <行動・学習プリント②>  ◇材料の特徴を生かし, 用具を適切に扱ってつくっている。 <行動・作品①>
ふりかえる		○できた作品を並べて「秋の美術館」をつくり, みんなで見合う。	○自他の材料の生かし方や表し方の工夫に気付けるよう, 「秋の美術館」を開催する活動を設定する。	◇表現の工夫に気付き, 学習プリントに表している。 <行動・学習プリント③>
共通事項	集めた落ち葉や小枝を切ったり, つなげたり, 他の材料と組み合わせたりする活動を通して, つくりたいものの形や色などを捉え, 自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・落ち葉がたくさん溜まる時期に実施できるよう, 日程を調整するとよい。 ・準備物 八つ切り画用紙(色画用紙), はさみ, 工作用接着剤, セロテープ, カラーペン, 落ち葉, どんぐり ・交流及び共同学習に適している。 ※教科書1・2上…P40~43				




図画工作科 2年

題材	9 すてきな プレゼント -立体に表す-			12月(4時間)
目標	つくるものの形や色を考え、のし棒や粘土べらの基本的な扱い方を知るとともに、絵の具の扱い方を工夫して、プレゼントや記念に残るものなどの小物をつくる。			
評価規準	<p>(①知・技) のし棒や粘土べらの基本的な扱い方を知り、粘土を伸ばしたり切り取ったりするとともに、筆の扱い方に気を付けながら彩色してつくり、発想のおもしろさやつくり方の工夫を見付ける。</p> <p>(②思・判・表) どんなプレゼントや記念品にしようかを考えて、形や色を工夫する。</p> <p>(③主体的態度) 粘土でプレゼントや記念品をつくることに楽しんで取り組もうとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	<p>○友達や家族にプレゼントしたり自分の記念にしたりする小物を紙粘土でつくることを知り、つくりたいプレゼントを考え、アイデアスケッチに表す。</p> <p>—— 学習のめあて ——</p> <p>粘土を伸ばしたり切ったりして、友達や家族が喜ぶプレゼントをつくろう</p>	○形や色、つくる手順を考えながら、自分なりに工夫してつくることのできるよう、誰にどんなものをプレゼントしたいか話し合う活動を設定する。	<p>◇友達や家族にプレゼントしたり自分の記念にしたりする小物を紙粘土でつくることに興味をもっている。 &lt;行動①&gt;</p> <p>◇紙粘土でつくりたいものの形や色、手順を考え、アイデアスケッチに表している。 &lt;行動・学習プリント②&gt;</p>
あらわす・ひろげる	2	○紙粘土や用具の扱いについて知り、紙粘土の伸ばし方や切り取り方、接合の仕方を工夫しながらつくりたい形をつくる。	○用具を適切にな扱い、工夫して表現することができるよう、材料コーナー、用具コーナーを設置する。	◇のし棒や粘土べらを正しく持ち、粘土を板状に伸ばしたり、表したい形に切り取ったりして、つくりたい形をつくっている。 <行動・作品③>
ふりかえる	1	○友達同士で、互いの作品を見合ったり交換したりしながらよさを見付ける。	○自分や友達の作品のおもしろさや工夫に気付けるよう、プレゼントを渡す相手へのメッセージを考える活動を設定する。	◇作品を楽しく見たり、表現の工夫に気付いたりして、作品のよさについて学習プリントに書いている。 <行動・学習プリント①>
共通事項	紙粘土を伸ばしたり切り取ったり接合したりする活動を通して、紙粘土でつくる立体造形の形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土でつくったらすぐに竹串などで裏に名前を書かせておく。</li> <li>・使用した粘土板、粘土べら、型抜き用具は、必ず濡れぞうきんで拭いて、粘土を落としきれいにしておく。</li> <li>・準備物 軽量紙粘土、粘土板、のし棒、粘土べら、型抜き用具、絵の具セット、ニス、接着剤、リボンやひも、ストロー</li> </ul> <p>※教科書1・2下…P18・19, 42・53</p>				

図画工作科 2年

題材	10 あつまれ 楽しい なかまたち -工作に表す-			1月(9時間)
目標	紙コップや紙皿の形からつくれそうなものを想像し、立体的な材料の加工方法を工夫して、卒業生を送るための飾りをつくる。			
評価 規準	(①知・技) 材料を適切に扱い、材料の切り方や接着方法を工夫して表し、材料の形や組合せを生かした表し方の工夫に気付く。 (②思・判・表) 材料の形を基につくりたいものを考え、材料の生かし方や飾りの形を考える。 (③主体的態度) 材料の形からいろいろなものを想像し、楽しんで表現に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○紙コップや紙皿を基にして、動物や魚、花などいろいろなものを試しに表し、卒業生を送るための飾りをつくることを知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           学習のめあて            材料を工夫して、卒業や入学をお祝いする気持ちが伝わる飾りをつくろう         </div>	○お祝いや感謝の気持ちを伝えることを踏まえて、お祝いにふさわしい作品を思い付くことができるように、子どもたちに卒業生を送る話を提示する。	◇感謝の気持ちを伝える作品をつくることを楽しんでいる。 <行動・発言③>
あら わす ・ひ ろげ	7	○紙コップや紙皿を、切ったり、組み合わせたり、身近な材料を接着したり、色を塗ったりしながら自分のつくりたいものをつくり、台紙の上に貼る。	○自分のつくりたいものに合わせて、細部まで加工の仕方や接着の仕方を工夫することができるよう、様々な大きさの紙コップや紙皿を集めた材料コーナーを設置する。	◇紙コップや紙皿、身近な材料を切ったり接着したりして、つくっている。 <行動・作品①>
ふり か え る	1	○できた作品を見合い、工夫を見付け合う。	○見た人の気持ちを想像しながら、作品の面白さや工夫に気付くことができるよう、作品を鑑賞しながら、展示の並べ方を考える活動を設定する。	◇つくり方の工夫に気付き、図エカードに表している。 <学習プリント①>
共通事項	紙コップや紙皿を並べたり重ねたりする活動を通して、つくれそうなものの形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
<b>【備考】</b> ・南校舎の玄関に飾る。学校行事「卒業式」「入学式」飾り付けの時間1時間。学年もしくは学級で対応。 ・準備物 紙コップ、紙皿、色画用紙、身近な材料(折り紙・毛糸・モール・綿・ようじ等)、はさみ、カッターナイフ、のり、木工用ボンド、両面テープ、台紙は、各クラス模造紙4枚 ※教科書1・2下…P52・53				

題材	11 ペたぺた魚たく -絵に表す-			2・3月(9時間)
目標	紙の重なりによる版表現の特徴や表現技法を知り、部品大きさや重ね方を工夫して紙版画に表す。			
評価規準	(①知・技)のりを塗る部分を考慮して紙を切って版に表し、適切な量のインクをローラーに付けて刷り、自分の思いを表すための版の工夫に気付く。 (②思・判・表)表したいものの形を決め、部品大きさや重ね方を工夫する。 (③主体的態度)紙版画の表現技法に関心を持ち、楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	2	○紙版画の仕組みを知り、思い付いたものを簡単な版にして表す。 学習のめあて 材料の種類や重ね方を工夫して、すきなものを版画で表そう	○白と黒で表現することや、版の凹凸によるインクが乗らない部分で形を表現していることなど紙版画の表現技法の特徴に気付けるよう、簡単な版をつくる試しの活動を設定する。	◇紙版画の表現技法に関心を持ち、楽しんで取り組んでいる。 <行動③>
あらかわす・ひろげる	6	○海にどんな生き物がいたら楽しいか考え、表したいものの形を思い浮かべながら、画用紙を切り取って並べる。  ○形を並べてみて、一番気に入った形に組み合わせて、版になるように確かめながらのり付けをし、刷る。 	○表すことを明確にするために、大まかな形を画用紙で切りながら並べて、アイデアスケッチをする活動を設定する。  ○表したいものの形やのりを塗る部分を考慮して版をつくることのできるよう、試し刷りの場を設置し、できた作品を見合う活動を設定する。	◇表したいものに合わせて、画用紙でつくった部品を並べている。 <行動・作品②>  ◇表したいものに合わせて、部品の形や大きさ、のりを塗る部分を考慮してのり付けし、適量のインクで刷っている。 <行動・作品①>
ふりかえる	1	○作品を見合い、表したものがよく分かるように工夫しているところを見付けて、発表したり、図エカードに記述したりする。	○互いの表現の工夫や、版表現の面白さに気付くことができるよう、自分と友達のを組み合わせて、1枚の作品を刷る活動を設定する。	◇版のつくり方や刷り方のよさに気付き、図エカードに表している。 <行動・学習プリント①>
共通事項	画用紙を切り取って並べる活動を通して、表したいものの形を捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・準備物 試し刷り用のざら紙、画用紙、はさみ、のり、インク、ローラー、インク練り板、ばれん、版画用紙、新聞紙、乾燥棚、参考作品 ※教科書1・2下…P50・51				